

第4学年〇組 道徳科学習指導案

平成〇年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 どうしたらよいか，自分で考えよう A 節度，節制

2 本時のねらい

○周りに流されずに自分を見つめ，自分でできることを考えようとする態度を養う。

3 準備・教材

○教材名「いっしょになってわらっちゃだめだ」 出典「新しい道徳」（東京書籍）

○教師・・・掲示物（拡大した挿絵），ワークシート

4 関 連

道徳 「目ざまし時計」（けじめのある生活をするためには）

5 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
方 向 付 け	1 価値への方向付けをする。 ○本当はこうの方がよいと思いつつも、友達や周りに合わせて行動した経験を思い起こす。 ・掃除の時、友達につられてしゃべってしまった。 2 本時の主題を知る。	5	○やるとよいが周りに流されてやらなかったり、やらないとよいが周りに流されてやってしまった経験の思い起こさせる。 ○主題名を板書し、全員で音読させることで価値への方向付けをする。
展	3 本教材を読み、話し合う。		○児童が場面を想像しやすいように拡大した挿絵を黒板に掲示しながら教材を範読する。 ○時間の経過や登場人物、表情の変化を確認する。
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> あなただったら、みんなと同じことをしますか、違うことをしますか。 </div> 〈みんなと同じことをする〉 ・一人だけ笑わないとばかにされるかもしれないから一緒に笑う。 ・今度は自分がいじめられるかもしれないから。 〈みんなと違うことをする〉 ・ゆうじがかわいそうだから、笑わない。 ・つられて笑うことは恥ずかしいこと		○休み時間にぼくがだまって席を立つ場面で、自分だったらどうするかを考えさせる。 ○理由と共に考えを発表させる。 ○両方の考えを言える児童や、どちらにするか迷っている児童に発表させ、多様な考えを出させる。 ○周りの目を気にして悩むぼくの葛藤について考えさせる。

展	だから笑わない。 ・笑わないことでみんなにいけないことだと示す。	25	○児童が二つの考えを比較しやすいように板書する。
	ぼくは、このできごとから何を学んだでしょうか。		
開	・自分で考えて行動することの大切さ。 ・友達と自分の考えが違っていても正しいと思うことをすること。	35	○ぼくのとった行動から本時のねらいに迫る。 ○友達の考えをよいと思ったらハンドサインなどで反応を示させる。
	4 自分の生活について考える。		
ま と め	あなたは今日の授業で何を学びましたか。		
	・周りに流されず、自分で気付けるとよいと思った。 ・みんながやってはいけないことをしていても、自分は正しいことをする。	40	○自らの生活を振り返って考えたことをワークシートに書かせる。 評周りに流されずに自分で行動することの大切さについて考えている。 (ワークシート、発表)
	5 教師の話聞く。	45	○自分で考えた行動をした結果、周りに認められるようになった児童の話をする。

6 本時の評価

- 周りに流されずに、自分でできることをしようと考えることの大切さに気づき、考えている。
(ワークシート、発表)

7 板書計画

あなたは、この一時間で何を学びましたか

自分で考えて行動することの大切さ

友達と考えがちがっても、正しいと思うことをすること

ぼくは、このできごとから何を学びましたか

挿 絵

挿 絵

挿 絵

みんなとちがうことをする

- ・ ゆうじがかわいそうだから笑わない。
- ・ つられて笑うことは、はずかしい。
- ・ 笑わない↓いけないこととしめす。

みんなと同じことをする

- ・ いっしょに笑っておく。(ばかにされるかもしれない)
- ・ 自分がいじめられるかもしれない。

どうしたらよいか、自分で考えよう